



あけましておめでとうございます。

本年もより一層、子どもたちに喜んでもらえるよう、給食職員一同頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。



子どもに伝えたい「食文化」

一年の始まりを祝うお正月は、日本人にとって特別な年中行事です。そして、お正月に食べる「おせち料理」。その内容や食べ方は、地域ごとに様々なバリエーションがありますが、「料理を食べることで健康長寿を願う」という点と、「日本の伝統文化の中で人をつなぐ」という点は、どの地域でも同じです。お正月は、子どもたちに地域や家庭の味と文化を伝える絶好の機会です。

★日本の食文化の特徴

日本には、普段通りの生活を送る「ケの日」と、特別な「ハレの日」があります。」そして、「ハレの日」には二種類あり、一つは正月のような季節ごとにめぐってくる年中行事。もうひとつはお誕生日や還暦などの人生の節目に行われる行事です。行事の際には、普段とは違う、その時ならではの食事をいただく風習があり、それが日本の食文化の特徴のひとつです。

★行事食の楽しみ方

- 1.一緒に食べる楽しさを知る
- 2.普段とは違う「食事」の楽しさを知る
- 3.行事に込められた思いを知る
- 4.食べ物に込められた願いを知る



お手伝い をやってみよう

料理の下ごしらえ

食材にふれる料理の下ごしらえは、子どもの五感をはぐまれる機会でもあります。野菜を洗う・ちぎるといったことから、卵を割る、材料をこねる・混ぜるなど、手を動かしながら食材の感触を確かめることができるからです。下ごしらえは大人がやってしまいがちですが、子どもがやりたいと思ったらできるだけチャレンジする機会をつくり、成長したらピーラーや包丁などの道具も使ってみましょう。

